

Illustration by
みずやん

超プライドの高い

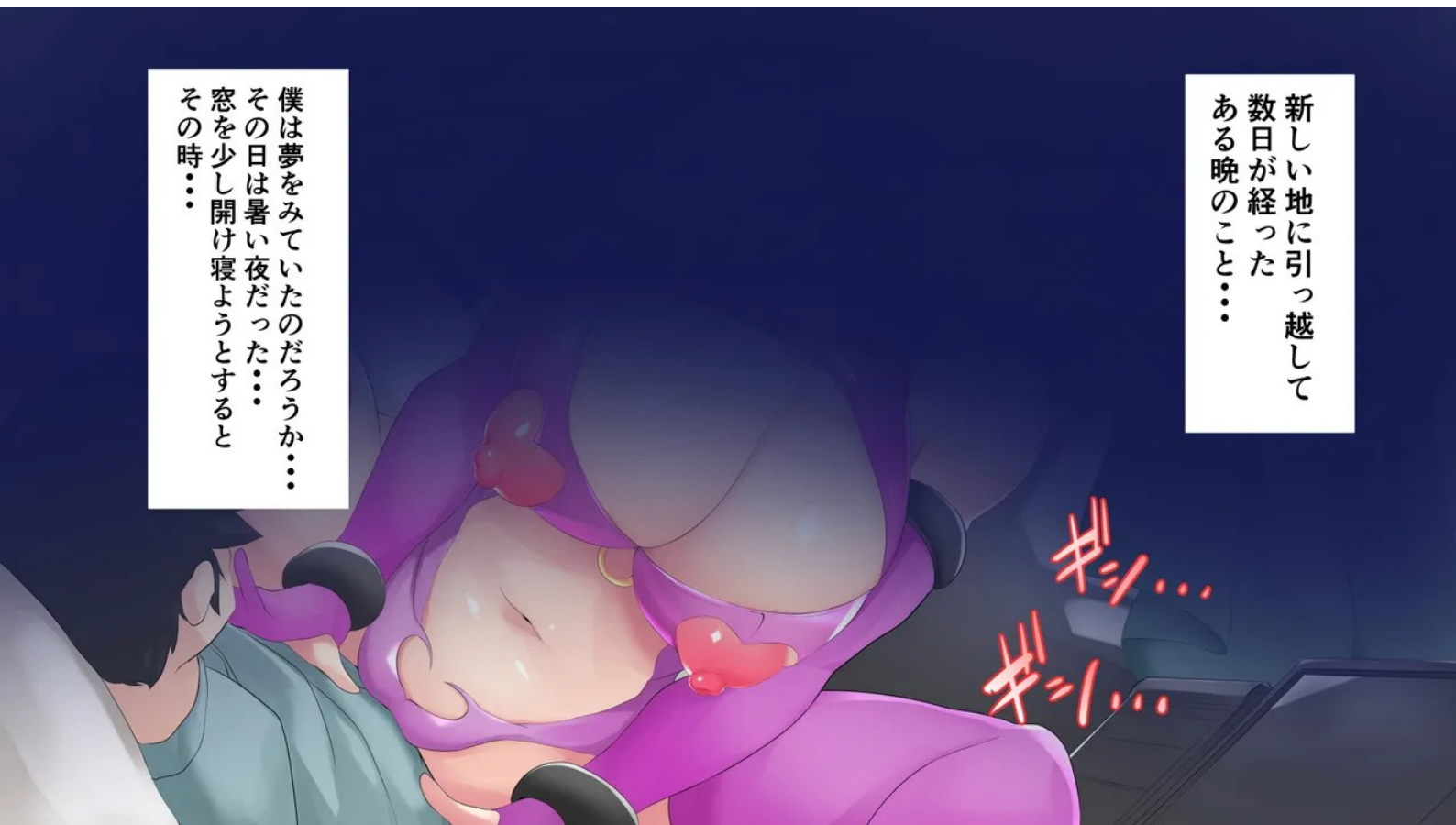
サキュバスを
奥さんにしちやつた件

基本CG **11** 枚

差分込み **162** 枚

新しい地に引っ越して
数日経った
ある晩のこと……

僕は夢をみていたのだろうか……
その日は暑い夜だった……
窓を少し開け寝ようとする
その時……





はじめまして〜♡

あなたの精液を
食べに来たわよ〜♡

ギシ
ギシ

そう
夢なのか幻なのか分からない
そこにはファンタジーでよく見る
サキユバスなコスプレをした
お姉さんが…

か、体が動かない…!!
金縛りか…?

ガハハハ



わあ〜♡
すごい大きい〜
でも皮被ってて...

もしかして
初めて？

...いや、これは夢じゃない
実際に伝わってくる
匂い、空気、女性特有のフェロモン
そして...快感

うふふ
その顔は初めてみたいね〜
じゃあ...気持ちよすぎで
死んじゃうかもねえ〜

ほわ〜...

くっ
くっ

おっ
おっ

ビーン

いただきます〜す♡
あはあ童貞おちんちんは
やっぱり美味しいわあ〜

全身金縛りにあっている僕だが
おちんちんの感覚だけは
ダイレクトに伝わってくる
初めて女の子の膣内に挿入った
感触…体全部が
搾り取られるようだ…

あらあら気持ちいいの？
人間のオマンコなんかより
サキユバスは絶品ばかりだから

でも…絶品すぎて
本当に昇天しちゃったら
ごめんね〜♡

アハハ



どんどん
股間から全身に強烈な
快感が響き渡る……!!

こんなの
オナニーと比べ物に
ならないくらいに……!!

あらっどうしたの
もう苦しそうな顔
しちゃって……
でも 初めて味わう快感で
悶える顔……
私の大好物なのよ♡

これは……
夢? じゃない
現実だ……げん……じつ

ズク
ズク

ズク
ズク





あーっどうしたの？
もう君のおちんちん白ちおしっこ
出たくて出たくて
私の膣内で暴れちゃってるわよっ

ちよぷん♡
そんな切なさ顔になっちゃって...

でも...私人間じゃないから
強烈な射精で...
死んじゃうかもね♡

し...死ぬ?
まさか嘘...
でも強烈なフェロモンと
快樂だけが勝って...
だが死んでたまるか...
これは夢なんだ
負けるものか...!
負け...!

あっ
ちよぷん♡

あ
むわあ

キッ
キッ
キッ

キッ
キッ
キッ

キッ
キッ
キッ

サキュバスの気が緩んだ隙に一転攻勢に移りだす……！
夢だろうが現実だろうが
気持ちいいものは止まらない！！
止められない！！

ヤッ

ハッ

僕の唯一の誰にも負けない
力がある……！
それは
一回の射精なんかで終わらない
絶倫王だ！！





はあはあ...
どうだ!! サキユバス
僕のカ、人間の力!

気づけば馬乗り状態
マンブルかえしという
サキユバスにとって
屈辱的ポーズを味合わされていた

ぼ...ぼかな
なぜだ今までのやつは
私の呪術も解けないまま
性奴隷の下僕と化したのだ!!

はあ
はあ

ピキッ

ピキッ

そんなに精液……ちや
このまんこが好まなんだっただろ

キキキキ
キキキキ

思う存分
突っ込んでやる!!!

へえ……ちや度胸じゃなちや
自ら精液奴隷にならなんだ……
他の人形と違うとちやちやの
見せてもらおうかしらね♡





な…なに？
おっぴよりらも
射精後のにも関わらず
さらに太く!!

んんん

!!お!!

んんんんん



お…お前
勝手に私のおっぱいを…
その手を離せー！

ズグズグ

おっおっ

おっぱいにや

ちゅちゅ…
すくすくおっぱい…
探さなびだキキキキキキキキ
締め付けて…

この…
高貴なサキユバスを
こんな下等な人間に
好き勝手…！

よし
このまま中を出して
イカせてやる!!
人間様の力見せてやる!

はあ!!
お前のちんこで
この私がイクわけないだろう!!
身の程知らずが!!

サキユバスにとって
搾精が目的で
人間が優位に立ち絶頂させられることは
屈辱的行為でもあった
このまま絶頂させられると
プライドをスダスダにされるとどうも

こっぴなったら...
奥の手...





ああ!?
お尻に!
なにか!!

私のしっぽには
最大級の媚薬の効果もある
精子を最後まで搾り取るための
最終手段だ!!

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ



全て搾り取られていた僕は
繋がったまま意識を失っていた…
サキュバスの力…
恐るべし…


ビクッ
ビクッ

お
お

はあはあ
初めてにしてはなかなか
手こずらせちゃって…

まあこれで下僕になるのも
時間の問題ね…
私の精液製造入ットとして
迎えてあげる…お
うふふふ♡





何故かすごく気だるい
バイト中もまったく気力が
出なかった……

やはり
あの淫魔な夢が原因なのだろうか
周りからも心配されるくらいに
顔にでていたらしい……

夜遅くまでなんとかバイトも終わり
やっと寝られる……と
帰り際、

突然、謎の睡魔に襲われた……
そして……
何かに覆いかぶさられ……



そう……
夢に出てきたサキユバスだった

元気にしてたあ？
私のペットちゃん？

この前の反抗的なあなた
良かったわよ……
今度こそ私の性奴隷に
してあげる♡

グッ……



せ...
性奴隷!?
ぶさける...

パツクリと開いた
サキユバスのマンコは
すでにドロドロで沸騰
するくらいに熱をうで肉厚...

ああん...
さっきまで
数十人食べちゃったけど

やっぱり君のおちんちんが
一番美味しそう~♡

はあ
はあ
はあ♡

ほかほか

むわあああ
ああ

はあ
はあ

無理だった...逆らおうとしても
いくら体が疲れていようとも
僕の股間は爆発寸前だった...

ああああ
どうしたの？
自分から挿入しちゃって...

そんなに待ちきれなかったの？
私のオマンコ...
これは夢じゃない

ハハッ

ゼーんお搾り取って
今度こそ私の精液製造ベツトに
してあげるわ♡
うふふ♡

ぬっ
うん
うん
うん





う...
やばい こんなトロトロで
キツキツの肉厚...
癖をきってしまっ...
!!

こうやって
腰を左右に動かすと
すぐみんを果てて
イクんだけど

君のおちんちん
ほんと最高ねえ!♡
私だけのモノにして
毎日搾り取りたいわあ

あは
はは
はは



ほらほらあゝ
身動き取れないまま
情けない射精しちゃうなさい！

完全に屈服して
私だけの精液人形になるのよ！！

人間をやめて
私だけの精液人形に
なっちゃいなさい！

や...やめて！！
またまた
全部でさ...！！

んんん



もちろん
精神が壊れるまでねえ

体は疲れてても
私のフェロモンにかかれば
いくらでもイカせる
ことが出来るわよお

あはああん
すごい勢い

んん...

んん...

んん...

んん...

んん...

体も心もへとへとになりながらも
サキユバスのフェロモンにより
無理やり勃起させられ

肉玩具のように
好きなように命令され
体が快樂だけを求める
人形へと変わっていく...

そうぞう
まだまだ元気なおちんぼねえ
しっかり奥まで突きまわって

全部の精液...
生気を吐き出してね♡

あは♡

ズム
ゴッ...





あ...
あ...
あ...

ズズズ...

肉人形...

バイトでへトへトになつてた体が

ぐいつの間にか快楽を貪る体だ

とんどん変わっていく...

これ以上速く動くと
全部出てしまふぞうだ...

どうしたの？
勢いが弱く
なっちゃってるわよ...

そうだ♡

だめだ
悔しいけつ返事はもう出来ず
腰が止まらな

ただただ
今は欲望をすべて
吐き出したらい!!

壊れてても……!!

はっはっ!!
あぁ

んふふ♡
君も下僕らしい顔に
なってきたわね♡

そのその調子
毎日毎晩
枯れて死ぬまで
搾り取ってイカせてあげよう♡

Yes
I
can
take
more

ズク
ズク
ズク

ズク
ズク
ズク



出したらー出したらー！
出したらー出したらー！！

このサキユバスを
自分のモノにしたいとどう
欲求だけが高まってゆー……

はあはあ
ぞろぞろとーッても
くらかな……

下僕になるまえだ
頭が壊れちゃらそう
だからね……

狂心
♡





あはあ♡すごお力量
やっぱり君のおちんちんは
最高だね♡
これでもう
私の下僕になったのも
当然よね？

あはあ♡
すごお力量
やっぱり君のおちんちんは
最高だね♡

あはあ♡
すごお力量
やっぱり君のおちんちんは
最高だね♡

あはあ♡
すごお力量
やっぱり君のおちんちんは
最高だね♡

考えられないくらい
の射精が出た……
ただただ気持ちいい
このまま終わっても
いいくらいに……

でも……！

一心不乱に
サキユバスの体を持ち上げた

普段 そんなに力はないほうなのだが
フェロモンの力というか
いつも以上に力が増している

あはは♡
まだやるつもりなのお？
ほんと猿みたいだ
発情しちゃって

プライドも
そろそろなくなっちゃって
きちゃったのかなあ？

んんんん...

え？

わあ
わあ
わあ

んんん...





あれだけ射精したのにまだ足りない
そう・・・体はずっと快樂
サキユバスそのものを求めていた

あはははは♡
すていおちゃんぽ♡
この前まで童貞だったのだ

ますます従順なペットにして
毎日毎日枯れ果てるまで
精液搾り取りたいわぁ♡

バカ言うな・・・
このちんこは・・・
このちんこは・・・

ピキ
ピキ
ピキ

僕のちんこだ!!

ちんこ♡

さっきから何度も何度も射精しても止まらない むしろ数倍にパワーアップしている僕のちんこ

そう。。

サキュバスを屈服させるために自分のモノにしたいという欲求が股間に集結していた。。

が

はあ!!





あはははは！
すごいすごい！
まるで私を玩具みたいに
突き上げちゃって♡

みんなそうやって
どんな性欲と快楽に縛られ
壊れていくのよ♡

あなたのその力なら
毎日毎朝毎晩
死ぬまで全部ぜんぶ
食い尽くしてあげるわあ！
楽しみ♡

ふざけるな……！
僕は人形にならない
お前が……！
お前が僕の！

ぐわん ぐわん

ぐわん ぐわん

僕のモノになるんだ!!

おほお!!

…なにこれ
やば子宮奥まで
いままを感じたことのない
力でめり込まれて…!!
こいつ…
精神崩壊してない…
しっかり自分の意志のもとで
私を犯してる…!!

サキユバス!!
お前を屈服させるまで
イカせるまで貫いてやる!!



やばい……
こいつ本気だ……
いままで奴隷や下僕
人形にしてきたヤツは
ここまで反抗的じゃなかった

このまま中に出されると
確実に！屈辱的に！
私がいかにされてしまう……！

こんな屈辱的な絶頂……！
許さない！！

イクぞ！！出すぞ！！
サキユバス！
お前も昇天するんだ！！





何か感情の変化なのか
サキユパスも困惑気味に
今までに見せたことのない表情を
醸し出していた...

さっきまでずっと主導権を握られ
射精をさせられつづけられたのに
寸前でしっぽを使われ
外に出されてしまった...

のあ
イコ
!!

んんんんん

んんんんん



はあはあ…
やるじゃな…♡
ますます私のペットに
したくなってきたわ…♡

ふふ
今度決着をつけましょうか…♡
どちらかが倒れるまで…
ギブアップを認めたら
言うことを聞く…♡
それでいいわね？♡

ビクビク
ビク

サキュバスからの本気の挑戦状…
壊れるかもしれない戦いを申し出られたが
自分の中ではすでに決まっていた…

このサキュバスを
僕のモノにしたい…と

いよいよどちらかが
倒れるまでという
サキュバスとの決着を
つける闘いが始まった……

はあはあ……
前に見たよりも
凄い大きさに
なってるわね、

ただ
自分はしっぽで縛られながら
それも玩具のようにされている
ここでサキュバスが
さきに倒れるか
僕が倒れるか……
決戦が始まる

んんん

んんん



はあはあ
前以上に
すごいデカチンに
なっちゃってるわね…

ほんとこのままだと
私の頭もおかしく
なっちゃいそうね♡
うふふ…♡

きた…!!
この何もかも
もっていかれそうな
トロトロの膣内…

ズググググググ

んっ
んっ!



完全に指導権を握られているが、まずはここを耐えなると...

ほらほら
このデカチン！
射精することしか
頭にないくせにい！

しかし
何度もハメまくっていた僕には
この程度まだまだ余裕だった...
ハズだったが...

ジ
ジ
ジ
ジ
ジ
ジ

目の間に見える
お尻と下から
出たり入ったりする
卑猥な光景...

うふふ♡
君のおちんちん
もう私の中で
悲鳴を上げてるみたいよ？

それもそうだが
こんなデカ尻を目の前として
興奮しないわけがない...
リズムカルに跳ね回る
弾力のあるお尻...

うふ...

げん
げん
げん





さあ……
ここから私の特別なもの
見せてあげる
存分に出し尽くして
負けを認めなさいよ……!

わわあ ああ

んぐ!
な・なにを!?

サキュバスドレイン!!

下乳

下乳

ヒッ



膣肉全てが
精子を全て搾り取るように
一気に動き出した
精子とこころじやなぞ...
今度こそ生気も奪われる...!!

ここは
耐えなきゃ...!!
耐えるんだ...!!
耐え...



はあはあ♡
人間ごときだ
この技を使うのも久しぶりすぎて...
体が敏感になっちゃおう♡

ビクビク

ズワッズワッ



ふふ。。。
さすが、この時のために
ずつと溜めてきたことは
あるわね♡

直接私が飲み尽くして
あげるから
まだまだ耐えなさいよ？

気づけば何か柔らかいものに
包まれている。。。
おっぱいパイズリだった

サキュバスの猛攻は
まだ止まらない。。。

ぢゅわうわう

ピッ

ピッ



ふわとろなおっぱいに
包まれ幸福感に襲われる...

あらあら？
さっき出したばかりで
もうビクビクしてるわよ♡

サキユバズドレインで
体力と精子を奪われた僕だが
敏感なちんこを攻め続ける
サキユバスに絶対屈しなかった

ムム...

むぎゅ♡

むぎゅ

ここまで耐えきれたって褒美よ
私の高貴な唾液を
プレゼントしてあげる♡

ありがたく
受け取りなさい♡

サキユバスの体液…
とくにキス等
フェロモンの高い液体には
身も心も壊れそうな
媚薬が含まれていた

理性も全て飛びさつたなるが
それでも折れない…
ハズだった

とろおろお

ガクガク

ガク

しかし…
目の前にはサキユバスの
マンコ汁が大量に溢れていて
ムリヤリ顔になすりつけてくる…

ああん♡
そんなに喉が渴いてなの？
私の淫魔なお汁ばかり
飲んでちゃってえ♡

ただただ
ひたすらに流れてくる汁を
飲み続けるだけの獣となってた…

しかも
それを知ってか
わざと顔に
なすりつけてくる…

ゴッゴッ…

シチュ

ドクン

おん

あはは
もうおちんちんからも
涎とまらなく
なっちゃってるわねえ♡

どう？
出したらい？出したらいの？
でもまだまだ我慢よ？
おちんちんも顔も
私の体液で溺れて
しまいなさい♡

体全身が性器になった気分だ…
もうどこをしてもかかれても
気持ちよくなってる…

これが人形になっていく…
サキユバスの玩具にな…

たはん たはん



おっぱいの中に入れてしまってるぞ！

サキユバズドレイン！！

あーあーあーあーあーあーあー

はっ はっ ずっずっ

巨大なおっぱいに包まれ
更に強力な技を出してくる…！
もう何もかも気持ちいい
勃起も止まらない…！

駄目…だ
暴走す…！

あーあーあーあー

あーあーあーあー

あーあーあーあー

あははははっ

ブルブルブル

あははははは♡
すごい勢いで白ちおっこ
出てるぅ♡
もう壊れた蛇回みたいねえ♡

おしゃんか♡

…
今度こそ完全に屈服するかと思った
しかし 自分の中で
まだ何か折れないモノがあった…



サキュバスのドレインの連続で
気が緩んだサキュバス

これだけ搾精すれば
もう普通の人間は
失神するだろう
と甘く見ていた…

しかし僕のちんこは全く萎えず
サキュバスのフェロモンや媚薬等で
凶悪な大きさへと変貌していた…

ビキ
ビキ





サキユバス...
天国に昇るのは
君だ...

え？

バキバキ...

てんてん♡

カシ

まだまだ私とハメたいの？
いいわよ？
天国へいっばいっばい
連れてってあげる♡

はっはは
すっごい♡
とんでもない体力と
ちんこ持ってるのねえ



待!?
待って!!

ん?
ハメたいんじゃないか?
なかったのか?

明らかに...
初めてサキユバスの
焦りを感じた...

先回、お話を聞いておいてくれてありがとう?
そこは入る場所じゃないわよ?
ちゃんとマンロをばめておいてね♡

ぐわ...

たり...

ん...
ん...

んんんんん

お尻が
マズい

いまままで聞いたことのない
サキユバスの鳴咽を
聞くことが出来た

ただマンロにハマっても
こちらが結局、一方的に
抜かれるだけ……

+||+||+||

ただどうしても気がかりだったのは
お尻を常に避けていたことだった……
なんとも分かりやすい弱点だ

ズズズズ



おお
おお
おお
おお
おお
おお

勢いで凶悪なちんこが
全部吸い込まれるように
アナルの中へ入ってしまった...

途端にサキュバスの下品な
嗚咽まじりの喘ぎと
とんでもない締め付けを感じた

カク

ビクンビクン

カクカク

カク
カク
カク



ガクガク

このままだと
あなたのおちんちんも
完全に壊れちゃうわ!!
アナルはだめなの
おおおおおお!!

止めて!
止めてえええ!
サキユバズドレインが
暴走しちゃうの!

サキユバズが何かを叫んで懇願している
しかし気持ちよさそうに
見えていた僕には
ただひたすら穴のヒダヒダ全てを
刺激し必死に貫いていた

ズルズル



カッカッ

下等な人間に
イカされるなんて屈辱……！
味わうものか！！

屈しない！！
これを耐えれば
あなたの方が
先に壊れる……！

確かにサキユバスの力が
弱くなってきているのを
ちんこ全身を感じて分かる……
……その時だった

ビクッビクッ

サキュバズドレインの
暴走が始まった
意志に関係なく ただただ
快楽と精子だけを
貪るだけの穴となりだした

ビクッビクッ
ビクッ

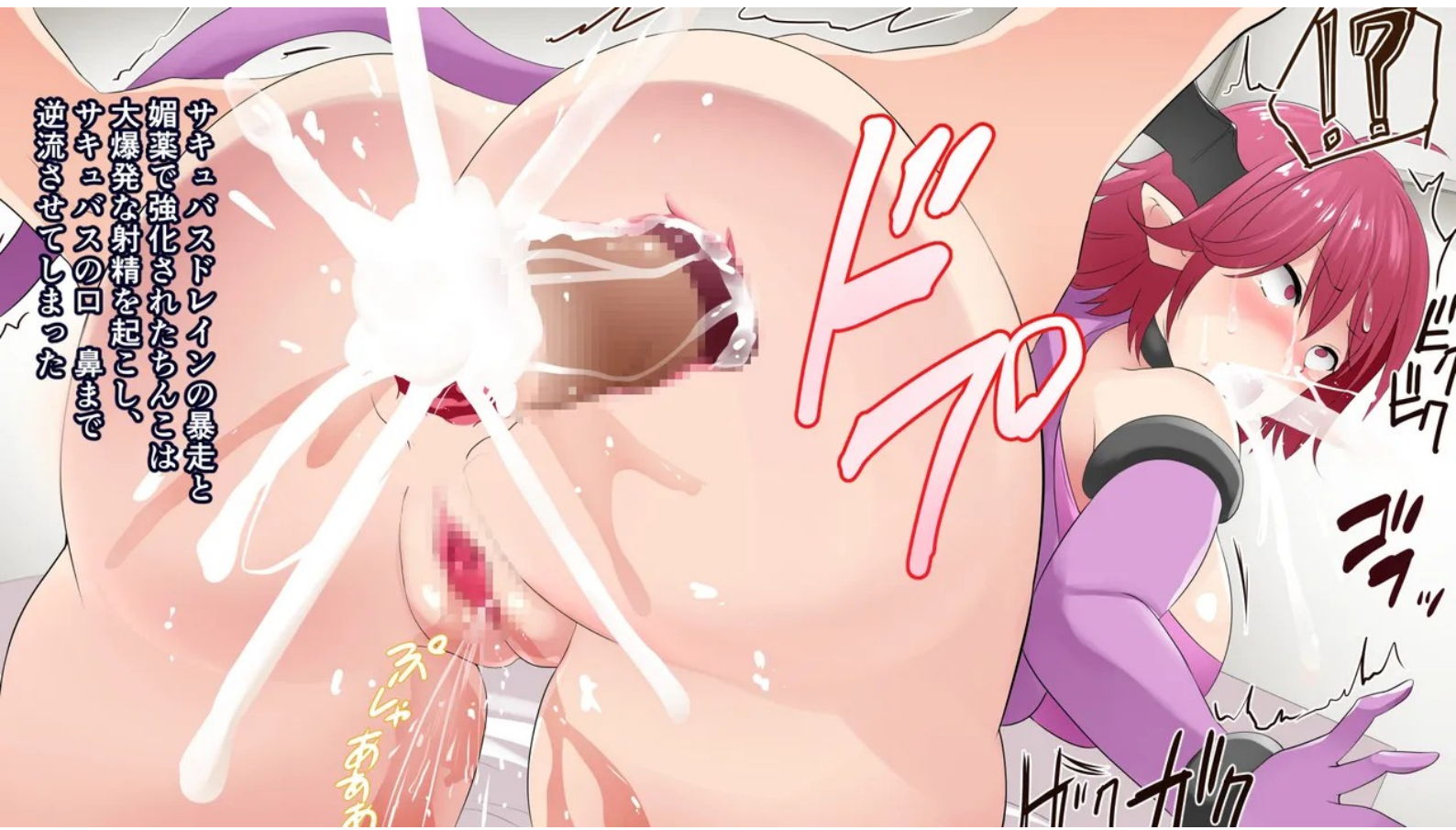
僕のちんこは
もう爆発寸前
ダムが決壊のようだ...

そして...その時が

あ
か
か
か
か
か
か
か

あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ





サキユバズドレインの暴走と媚薬で強化されたちんこは大爆発な射精を起こし、サキユバズの口鼻まで逆流させてしまった

アッ
あああ

ド
ド
ド

!!
?

ゴ
ゴ
ゴ

アッ
アッ



確実にイッた
一方的にイカされてただけの僕が
ついにサキユバスを昇天させることに
成功した...

無残で惨めなアへ顔を晒し
今までの表情とは考えられない
絶頂顔...

これだけ射精しても
まだ萎えないもんこ...
このまま完全な
随とすことを決意した

びー...

ドクッ!!

びー...

びー...

びー...

あれから
何時間経ったのだろう
サキユバスの暴走により
萎えないちんこ

一生分の精液を
全て吐き出ししている
状態になっていた

ドロオオオ...

ズル

ズル

あーっ
あーっ

ビクン
ビクン





ああ！
気持ちいい！
気持ちいいよサキユバス！
ずっとずっと入れていたい！！

おほっおほおほ
負けない！私が堕ちるなんて
ありえない！ありえない！！

でも……
私の 搾精行為が
制御できない……！！

おほ♡
おほ♡
おほ♡

何度目かの射精

グッ
ビュッ

お腹が孕んだかのように
精液が溜まりに溜まって
ポテ腹のような姿になって
出そうにも出さなくて
塞がれてくるなら
回から逆流せよんぞんぞん...

ホッホ

ウハッ

!?

駄目...!
駄目 人間の精液...が
体の中全部犯し続けて...
脳まで狂う!
うううううううううう!!





いい加減
負けを認めるんだ!
じゃないとどんどん
射精してやる!!

どうだ!?
サキユバス!
まだ屈しないか!?

精液に溺れる...
負けなの...
負けだよ...!

徐々に
射精すらもコントロール
出来るようになってきた僕
ある意味才能なのかもしれない

ビーン ビーン

ビーン ビーン

オエエ...

さらなる絶頂……！
意識はしつかりして……
イキまくっているサキユバスを
愛らしく見えてきた

ああ
もうずっとこの穴に
挿入していたい……
ああ 出る！

ん
ぐ
ぐ

無理無理無理無理ムリムリムリ！
これ以上精液を穴に流されたら
快感で脳が焼ききれちゃうわんわん！！



サキユバスの抵抗が
スツと消えたのが
ちんこを伝って分かった

ド
フド
フド
フド
フド
フド

もう……いや
お尻でイキたくない……
イクならおまんこ……
前の穴でイキたい

お願い……
前の穴でイかせて……
私の負けでいいから
もう……こんなイキかた……
壊れる……

ついに
音を上げたサキユバス……
勝利の瞬間だった

ゴホ
ゴホ
ゴホ

ヒュー
ヒュー



もうすでに完全に墜ちたサキユバス
そして次の射精が最後の射精だと自分でも体力的に理解していた...

ムンムン...

最後は...
最後だけはここに
ここに入れて...
イかせて♡

今まではただの
搾精するだけの行為だったが
今のサキユバスの目は
何か違う表情をしていた...



今までの荒々しい行為とは違い
リズムカルにピストンして行く...
それをしっかり受け止めて
感じるサキュバス

しゅわ...♡
しゅわ...♡
しゅわ...♡
しゅわ...♡
しゅわ...♡
しゅわ...♡

おっ♡
おっ♡

ほっ♡
ほっ♡
おっ♡
おっ♡

あれだけ見下していた
性格もおとなしくなり
心は普通の女の子と
なっていた





もう顔も快楽に崩れ
全ての流れを受け入れようと
していたように見えた

いままで
何度も挿入し続けた
サキユバスの膣内
しかしいつもと違い
優しく包み込んでくる

しゃき♡
しゃき♡
しゃき♡
あつと♡
あつと♡

ぐわんぐわん
ぐわんぐわん
ぐわんぐわん
ぐわんぐわん

はっ
はっ



サキユバスのお腹は
前も後ろも大量に入れられ
パンパンに膨れ上がっていた

しかし
今までに見たことのない
幸福そうな顔……

毛水あぁあ♡

ゴゴゴ

僕のちんこに
屈服した
証明だった……



あれから
数ヶ月が経ち……
サキユバスが従えていた
下僕や人形は開放され
魂も元通りになった

アハハ
アハハ

僕の言ってることをなんでも聞く
いうことをしっかりと聞き入れ……
僕を好きにする女性となった……





あんなに強く抱かなくていいよ...
お腹の子がびっくりしてるよ...

ママ
お母さん...

いやあん♡
それこそ驚いて
お腹の子出ちゃうわ♡

屈服したサキュバスは
精液のポテ腹ではなく
しっかりと僕の子を孕んだ...
これも僕の求めてたものだった

お互い
快樂を貪る行為という
単純なことではなくなり


どろ
ろ...♡♡♡
気持ち♡♡
気持ち♡♡わ...
あなた♡

すちや
すうん

うん!!

愛をしっかりと感じる
セックスを
楽しんでいた





こうして
サキュバスと結ばれること
になった僕……

波乱な幕開けになりそうだけど
こんな不思議な人生もあり……かな
と、今は幸せだけに溢れていた……



END



